

NEWS LETTER No.55

JVCA第22回定時会員総会&講演会 (2024/7/12)

去る7月12日に第22回JVCA定時会員総会&講演会を会場とオンライン参加のハイブリッド方式で開催し、会員様中心に400名近い皆様にご参加いただきました。

当日は、22期の活動報告、新年度方針ならびに新体制のご紹介をした後、講演会では2つのパネルディスカッションを行い、前半では「ディープテック/公共調達パネル～ディープテックスタートアップへの期待と公共調達～」と題して、ディープテックスタートアップにとっての公共調達やVCとの関係について等、後半は「機関投資家パネル～VCが一層のパフォーマンスを実現するために～」と題して、VCへのLP出資時の着眼点やハイリターンを実現しているGPの共通項、今後のVC業界への期待についてそれぞれお話しいただきました。

その後、経済産業省様、金融庁様によるプレゼンテーション、最後にエコシステム発展に貢献された皆様を表彰させていただくJVCA賞授与式、懇親会を行いました。ご参加いただいた皆様に厚く御礼を申し上げます。

■プログラム

定時会員総会	第1号～第3号議案議事
活動報告、新体制紹介	22期活動報告・23期活動方針ならびに新体制紹介
パネルディスカッションⅠ 「ディープテック/公共調達パネル～ディープテックスタートアップへの期待と公共調達～」	<p><パネリスト></p> <p>新井 元行氏 株式会社Synspective 代表取締役社長CEO 博士(工学)</p> <p>梅川 忠典氏 リージョナルフィッシュ株式会社 代表取締役社長</p> <p>宇田川 徹氏 内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局 イノベーション推進担当企画官</p> <p>富原 早夏氏 経済産業省 イノベーション・環境局 イノベーション創出新事業推進課 スタートアップ推進室長</p> <p><モデレーター></p> <p>郷治 友孝 JVCA会長(株式会社東京大学エッジキャピタルパートナーズ(UTEC) 代表取締役社長CEO・マネージングパートナー)</p>
パネルディスカッションⅡ 「機関投資家パネル～VCが一層のパフォーマンスを実現するために～」	<p><パネリスト></p> <p>久村 俊幸氏 株式会社産業革新投資機構 取締役CIO</p> <p>増田 徹氏 三井住友信託銀行株式会社 執行役員</p> <p>キャシー 松井氏 MPower Partners ゼネラル・パートナー (JVCA理事)</p> <p><モデレーター></p> <p>田島 聡一 JVCA会長(株式会社ジェネシア・ベンチャーズ 代表取締役・General Partner)</p>
プレゼンテーション	<p>桑原 智隆氏 経済産業省 イノベーション・環境局 イノベーション創出新事業推進課長</p> <p>齋藤 将彦氏 金融庁 企画市場局 市場課長</p>
JVCA賞 授与式	<p>森ビル株式会社様</p> <p>スピーダ スタートアップ情報リサーチ (INITIAL) 様</p>

(肩書は開催時点)



第23期体制発足のご挨拶

当協会は2002年11月の設立以来、ベンチャーキャピタル業界における相互連携とベンチャー企業育成の役割を一層強固にするという目的に向かって活動してまいり、第23期においても、会員数は1年で336社から376社(2024年6月11日時点)へと増加し、独立系VC、金融系VC、大学系VC、CVC、その他支援団体を含む、スタートアップエコシステムに関わる幅広いステークホルダーが参画する業界団体へと発展を遂げて参りました。

第23期新体制では、協会の使命たるベンチャーキャピタル業界のエコシステム強化を通じた新産業創造への寄与を一層進めるべく、第22期に引き続き、以下の目標を掲げて活動してまいります。

<JVCAの目指すところ>

「2027年までに、上場・非上場含むスタートアップの株式時価総額の合計額を100兆円規模とする」

新体制活動方針(2024-2025)

VCが我が国の新産業創出の牽引者となり、多様で持続可能なスタートアップエコシステムの実現に貢献する

1. 投資マネーの拡大

国内外の機関投資家から必要とされる情報の提供やデータの整備に取組みつつ、受託者責任を全うし、投資マネーの調達とそのスタートアップへの供給を大規模に拡大する。

2. 資金循環とイノベーションの促進

新産業を創出するため、スタートアップの資金調達手段及び投資家のエグジット手段の多様化を図ることで資金循環を促進するとともに、大企業のトランスフォーメーション及びスタートアップのM&Aを支援することを通じて産業のイノベーションを推進する

3. スタートアップエコシステムの拡充

スタートアップから次世代を代表する企業が持続的に創出されるエコシステムを拡充するべく、多様な意見や価値観を活かしつつグローバルに対応するための環境を整備し、中長期を見据えた政策に官民一体となって関与するとともに、活動の成果を可視化する

ベンチャーキャピタル産業が我が国の新産業創出の牽引者となり、多様で持続可能なスタートアップエコシステムの実現に貢献すべく更なる向上を目指してまいります。

<第23期理事監事体制>

会長	郷治 友孝	株式会社東京大学エッジキャピタルパートナーズ (UTEC) 代表取締役社長CEO・マネージングパートナー
会長	田島 聡一	株式会社ジェネシア・ベンチャーズ 代表取締役・General Partner
副会長	渡辺 洋行	B Dash Ventures 株式会社 代表取締役社長
専務理事	高野 真	D4V合同会社 CEO兼GP/リンクタイズホールディングス株式会社 代表取締役会長 兼 Forbes JAPAN Founder
常務理事	松本 季子	ジャフコグループ株式会社 執行役員
常務理事	林 龍平	ベータ・ベンチャーキャピタル株式会社 代表取締役パートナー
常務理事	山岸 広太郎	株式会社慶應イノベーション・イニシアティブ 代表取締役社長
理事	今野 穂	グロービス・キャピタル・パートナーズ株式会社 代表パートナー
理事	南場 智子	株式会社デライト・ベンチャーズ 代表取締役 / 株式会社ディー・エヌ・エー 代表取締役会長
理事	近藤 裕文	株式会社サイバーエージェント・キャピタル 代表取締役 / 株式会社サイバーエージェント 執行役員
理事	白木 信一郎	あいざわアセットマネジメント株式会社 代表取締役社長 CEO / アイザワ証券グループ 取締役
理事	西條 晋一	XTech Ventures株式会社 代表パートナー
理事	キャシー 松井	Mpower Partners Fund L.P. ゼネラル・パートナー
理事	新美 正彦	DBJキャピタル株式会社 代表取締役社長
理事	村田 祐介	インキュベイトファンド 代表パートナー
理事	松本 真尚	株式会社WiL ゼネラルパートナー兼共同創業者
理事	岡橋 寛明	みやこキャピタル株式会社 代表取締役社長 パートナー
理事	佐藤 真希子	株式会社iSGSインベストメントワークス 代表パートナー
理事	井上 智子	Infinite CORE株式会社 代表取締役
理事	頼 嘉満	株式会社UB Ventures マネージング・パートナー
理事	服部 結花	インクルージョン・ジャパン株式会社 代表取締役
理事	小池 藍	THE CREATIVE FUND, LLP 代表パートナー
理事	木村 亮介	ライフタイムベンチャーズ合同会社 代表パートナー
理事	丹羽 功	大和企業投資株式会社 代表取締役社長
理事	小島 拓朗	三菱UFJキャピタル株式会社 代表取締役社長
理事	安元 淳	株式会社NTTドコモ・ベンチャーズ 代表取締役社長
監事	阿部 博	有限責任あずさ監査法人 常務執行理事 企業成長支援本部 インキュベーション部長 パートナー/KPMGジャパンプライベートエンタープライズセクター スタートアップ統轄パートナー/公認会計士
監事	齊藤 直人	EY新日本有限責任監査法人 企業成長サポートセンター センター長 IPOグループ統括 パートナー 公認会計士
監事	只隈 洋一	有限責任監査法人トーマツ パートナー IPO戦略推進室長 公認会計士
最高顧問	仮屋箇 聡一	グロービス・キャピタル・パートナーズ株式会社 共同創業パートナー
特別顧問	赤浦 徹	インキュベイトファンド 代表パートナー
特別顧問	中野 慎三	伊藤忠テクノロジーベンチャーズ株式会社 取締役 パートナー



国内VCパフォーマンスベンチマーク第6回調査発表

VC会員62社より206ファンドのデータを提供いただき、2023年末時点で洗い替えを行ったVCパフォーマンスベンチマークの第6回調査を発表いたしました。結果は表の通り、国内VCの好調な運用成績を示す格好となりました。国内VCファンドの会計・評価基準はGP毎にいくつかの手法が用いられますが、公正価値評価を採用しているファンドもしくは180日以内の直近ファイナンス価格で評価しているファンドの割合は本数ベースでは21%に留まるものの、金額ベースでは48%に及んでおり、国際比較に耐えうるGPが増えつつあります。データを提出いただいた下記VC各社には厚く御礼申し上げますと共に、引き続きご協力をお願い申し上げます。

図表2: 中央値ベンチマークテーブル (2023年12月末時点) **

ビンテージ	ファンド数	PIC (%)	DPI (%)	RVPI (%)	ネットIRR (%)	ネットマルチプル (X)
2010年	3	100.0	214.6	0.0	11.7	2.15
2011年	7	100.0	133.0	1.2	22.0	1.60
2012年	3	100.0	345.4	79.5	27.1	4.25
2013年	7	100.0	164.2	10.2	14.2	2.23
2014年	6	100.0	138.6	44.3	13.1	2.14
2015年	17	100.0	53.9	67.8	12.2	1.94
2016年	17	100.0	38.0	99.6	11.6	1.51
2017年	12	100.0	9.3	105.4	5.3	1.27
2018年	24	100.0	10.0	140.2	13.3	1.57
2019年	19	95.0	3.0	108.4	4.9	1.26
2020年	18	67.3	0.0	94.5	-1.8	0.96
2021年	16	56.8	0.0	93.7	n/m	0.94
2022年	20	35.4	0.0	92.0	n/m	0.92
2023年	14	11.4	0.0	95.5	n/m	0.95

※必ずしもIFRS、US GAAP、FAS 157、またはIPEVガイドラインに従った公正価値に基づく指標ではないため、これらの指標は他国または他地域との国際比較には適さない。

出所: Preqin-JVCA国内VCベンチマーク調査 (2024年5月実施)

** ベンチマーク作成には、各ビンテージ最低 3 本のファンドが必須。ファンド数が 3 に満たないビンテージは非開示 (n/a=Not Applicable)。ファンド組成から年限が浅い時点でのIRRの高低にあまり意味はないため、直近3年間のIRRは非開示(n/a=Not Meaningful)。各指標の中央値を示すものであり、DPIの中央値とRVPIの中央値を足した数値は必ずしもネットマルチプルの中央値と一致しない (DPIで中央値に当たるファンド≠RVPIで中央値に当たるファンド)。

<ファンドデータ提供会員企業 62社一覧> (社名五十音順)

Archetype Ventures 合同会社	Coral Capital	合同会社 PKSHA Technology Capital
株式会社 iSGS インベストメントワークス	株式会社サムライインキュベート	Partners Fund
i-nest capital 株式会社	株式会社ジエネシア・ベンチャーズ	B Dash Ventures 株式会社
朝日メディアラボベンチャーズ株式会社	ジャフコ グループ株式会社	Beyond Next Ventures 株式会社
株式会社 ANOBAKA	新生キャピタルパートナーズ株式会社	株式会社ファストトラックイニシアティブ
Abies Ventures 株式会社	STATION Ai 株式会社	株式会社 FINOLAB
ANRI 株式会社	STRIVE 株式会社	フェムトパートナーズ株式会社
伊藤忠テクノロジーベンチャーズ株式会社	スパークス・アセット・マネジメント株式会社	フォースタートアップスキャピタル合同会社
インキュベイトファンド	Spiral Capital 株式会社	株式会社 basepartners
SBI インベストメント株式会社	栖峰投資ワークス株式会社	ベータ・ベンチャーキャピタル株式会社 (旧株式会社ドーガン・ベータ)
株式会社 MPower	大和企業投資株式会社	Bonds Investment Group 株式会社
Angel Bridge 株式会社	千葉道場株式会社	みやこキャピタル株式会社
大阪大学ベンチャーキャピタル株式会社	D4V 合同会社	株式会社みらい創造機構
株式会社環境エネルギー投資	株式会社ディーブコア	合同会社 Miraise
株式会社キャピタルメディカ・ベンチャーズ	DIMENSION 株式会社	株式会社 mint
QB キャピタル合同会社	株式会社デライト・キャピタル	モバイル・インターネットキャピタル株式会社
京都大学イノベーションキャピタル株式会社	株式会社東京大学エッジキャピタルパートナーズ (UTEC)	株式会社 UB Ventures
株式会社 Global Hands-On VC	東京大学協創プラットフォーム開発株式会社	ユナイテッド株式会社
グロービス・キャピタル・パートナーズ株式会社	東北大学ベンチャーパートナーズ株式会社	ユニバーサル マテリアルズ インキュベーター株式会社
XTech Ventures 株式会社	DRONE FUND 株式会社	ライフタイムベンチャーズ合同会社
株式会社慶應イノベーション・イニシアティブ	日本ベンチャーキャピタル株式会社	

以上

2024年度初級キャピタリスト研修（春季：A日程2024/5/23～25 / B日程6/6～8）

春の恒例である初級キャピタリスト研修を今年はA日程（5月23日～25日）、B日程（6月6日～8日）にて開催し、両日程合わせて175名の方に受講いただきました。第一線で活躍中のキャピタリストが講師を務め、講義ならびにグループワーク等で投資実務について体系的かつ実践的に学んでいただきました。受講者同士での共同作業や名刺交換等を通じて、同期としての交流も深めていただきました。

各講座のテーマと担当講師は以下の通りです。



テーマ	講師	
ソーシング	村田 祐介	インキュベイトファンド 代表パートナー / JVCA 理事
ディールストラクチャー	後藤 勝也	AZX 総合法律事務所 Managing Partner CEO, 弁護士 / JVCA 顧問
コンプライアンス	菅原 稔	AZX Professionals Group マネージングパートナー COO
デューデリジェンス（サービス系）	立岡 恵介	グローバルブレイン株式会社 General Partner
	千葉 貴史	Spiral Capital 株式会社 ジェネラルパートナー
デューデリジェンス（テクノロジー系）	山口 泰久	株式会社 FFG ベンチャービジネスパートナーズ 取締役副社長 / JVCA 地方創生部会 委員
バリュエーション	安永 謙	Global Hands-On VC ファウンダー & マネージング・パートナー / JVCA グローバル部会長
投資先リーダーシップ（コーチング）	今野 穂	株式会社 グロービス・キャピタル・パートナーズ 代表パートナー / JVCA 理事
	菅原 敬	株式会社 iSGS インベストメントワークス 取締役 代表パートナー
経営支援（サービス系）	林 龍平	ベータ・ベンチャーキャピタル株式会社 代表取締役パートナー / JVCA 常務理事
	田島 聡一	株式会社ジェネシア・ベンチャーズ 代表取締役 General Partner / JVCA 会長
経営支援（テクノロジー系）	山岸 広太郎	株式会社慶應イノベーション・イニシアティブ 代表取締役社長 / JVCA 常務理事
	井出 啓介	株式会社東京大学エッジキャピタルパートナーズ パートナー
エグジジット（M&A）	久保田 朋彦	フォーリハン・ローキー株式会社 エグゼクティブディレクター
エグジジット（IPO）	仮屋 園 聡一	グロービス・キャピタル・パートナーズ株式会社 共同創業パートナー / JVCA 最高顧問
ゲストセッション （プロフェッショナルとしてのVC）	田島 聡一	株式会社ジェネシア・ベンチャーズ 代表取締役 General Partner / JVCA 会長
	郷治 友孝	株式会社東京大学エッジキャピタルパートナーズ 代表取締役社長 CEO・マネージングパートナー / JVCA 会長
	宇佐美 篤	株式会社東京大学エッジキャピタルパートナーズ 取締役・パートナー
	中野 哲治	SMBC ベンチャーキャピタル 投資営業第一部長
	新見 祐加	DCI パートナーズ ディレクター
	山中 卓	i-nest capital 株式会社 代表パートナー / JVCA 理事

（敬称略・肩書は開催時点）

中堅キャピタリスト研修（春季：2024/2/29～3/2）

キャピタリスト歴3～5年目相当の「中堅キャピタリスト」の方を対象に行う中堅キャピタリスト研修を、2月29日から3月2日の3日間にて開催いたしました。第一線のキャピタリストならびに当該領域に精通した講師をお迎えし、23名の方に中堅キャピタリストとして必要なハードスキル・ソフトスキルを学んでいただきました。研修最後のワークショップでは受講者のグループに講師も入り、3日間の学びやこれまでのキャリアを振り返り、最後に受講者お一人ずつ今後の目標を宣言いただきました。



テーマ	講師	
キャピタリストのキャリア	丸山 聡	StarshotPartners 合同会社 ベンチャーキャピタリスト / JVCA フェロー
投資契約	平野 清久	大和企業投資株式会社 代表取締役社長 / JVCA 理事
コンプライアンス/リスクマネジメント	大島 伶	JP インベストメント株式会社 マネージングディレクター / JVCA 企画部委員
バリューアップ（事業）	立岡 恵介	グローバル・ブレイン株式会社 General Partner
EXIT戦略_M&A	久保田 朋彦	フォーリハン・ローキー株式会社 エグゼクティブディレクター
EXIT戦略_IPO	村田 祐介	インキュベイトファンド 代表パートナー / JVCA 理事
バリューアップ（組織・人）	小野 壮彦	株式会社グロービス・キャピタル・パートナーズ Head Of GCP X
キャリアセッション	仮屋 園 聡一	株式会社グロービス・キャピタル・パートナーズ 共同創業パートナー / JVCA 最高顧問
	丸山 聡	StarshotPartners 合同会社 ベンチャーキャピタリスト / JVCA フェロー
	立岡 恵介	グローバル・ブレイン株式会社 General Partner
	頼 嘉満	株式会社 UB Ventures マネージング・パートナー / JVCA 理事

（敬称略・肩書は開催時点）

JVCA研修2023年度受講者向け合同リユニオン（2024/7/1）

初級キャピタリスト研修、中堅キャピタリスト研修、CVC研修を2023年3月から2024年2月までに受講された方向けの同窓会である「リユニオン」を2024年7月1日に開催いたしました。前半は「先輩キャピタリストによるキャリアセッション」と題して、New Commerce Ventures大久保光平氏、ジャフコ グループ北澤知丈氏、かんぼNEXTパートナーズ田中研午氏、インクルージョン・ジャパン/JVCA理事服部結花氏をお招きし、モデレーターは丸山聡JVCA VCナレッジ部会委員が務めて、キャピタリストとして嬉しかったこと、ぶつかった壁の乗り越え方など、各自のキャリアについて忌憚なく語っていただきました。後半は受講された研修回ごとのテーブルを囲んでサンドイッチパーティを行い、皆様久しぶりの再会を楽しみました。



2023年度トップ懇談会（2024/2/29、3/6・7・25）

会員企業各社のトップ層にお集まりいただくトップ懇談会を、委員会毎に2024年2月29日、3月6・7・25日に開催いたしました。ベンチャーエコシステム委員会では、主にキャピタリストの採用・キャリア構築ならびに広報活動について、ファンドエコシステム委員会では、LP投資家対応ならびに政策提言について、オープンイノベーション委員会では、CVC運営やM&Aの活用、大学連携およびテクノロジー投資、地域のスタートアップエコシステム、グローバル投資・スタートアップのグローバル展開などについて、ご参加の皆様と議論いたしました。



VCナレッジ部会 勉強会（2024/3/11、5/21、6/18、9/3）

VCナレッジ部会では、以下の勉強会を行っています。

<ナレッジ勉強会>2024年3月11日に、参加対象を自社の事例や課題についてお話いただけるGPの方に限定し、ナレッジ勉強会「ファンド運用期限／清算を見据えたGP・ファンド運用責任者としての対応の実際」を開催し、伊藤忠テクノロジーベンチャーズ中野慎三氏、WMパートナーズ鈴木祥平氏、フェムトパートナーズ曾我悠平氏、丸山聡JVCA VCナレッジ部会委員に登壇いただき、ファンド運用期限を見据えたGPとしての対応などについてのナレッジをパネリストと参加者で共有いただく機会といたしました。



2024年6月18日に、参加対象をJVCA会員に限らずGPの方として、「継続的ファンド組成・運営を考える～GPのためのファンド/ファームマネジメントセミナー～」を開催し、インキュベイトファンド本間真彦氏、ジェネシア・ベンチャーズ田島聡一氏、Spiral Capital千葉貴史氏、沼田朋子JVCA VCナレッジ部会委員にファンドマネジメントのセッションに、ANRI河野純一郎氏、ジャフコグループ坂祐太郎氏、UB Ventures頼嘉満氏、今野穰JVCA理事・VCナレッジ部会長にはファームマネジメントのセッションに、それぞれご登壇いただきました。

<定例勉強会>2024年5月21日株式会社東京証券取引所（株式会社日本取引所グループ）/JVCA 共催イベント「東証IPO セミナー」を東証ホールにて開催いたしました。前半は、上場審査基準の見直しについて等を東証様から、後半は前年に上場されたQPS研究所 市來敏光氏と、ベータ・ベンチャーキャピタル渡辺麗斗氏、東京証券取引所 宇壽山凶南氏にご登壇いただき、上場当日の様子や上場までのストーリーをお話いただきました。希望者には5年ぶりに東証アローズも見学いただきました。



2024年9月3日第141回定例勉強会「ファンド運用期限／清算を見据えたGP・ファンド運用責任者としての対応の実際」と題し、上記3月11日ナレッジ勉強会の内容につき、モデレーターを務めた丸山聡VCナレッジ部会委員が解説いたしました。

広報部会 メディアプレゼンテーション (2024/3/19)

VC業界ならびにスタートアップの最新動向をメディア各社にご紹介する「メディアプレゼンテーション」を、2024年3月19日にリアル開催しました。JVCAにおける新たなダイバーシティ施策の報告、株式会社ユーザベースによる業界に関する調査報告に続き、「スマート農業・養殖に取り組むスタートアップ」と題するパネルディスカッションを行いました。パネルには、株式会社WAKU姫野亮佑氏、株式会社さかなドリーム細谷俊一郎氏に登壇いただき、スマート農業・養殖に関する新しい取り組み等についてお話しいただきました。



政策部会 勉強会 (2024/1/15)

JVCA政策部会では、2024年1月15日に政策部会ウェビナー～マクロ政策勉強会～として、「人口減少社会を考えるー未来への責任ー」と題し、介護保険制度の立案を始めとし、我が国における社会保障制度に貢献されてきた内閣官房参与(社会保障・人口問題)山崎史郎氏にご講演をいただきました。

政府は2030年代までが少子化傾向を反転できるかの「ラストチャンス」として、少子化対策に強力に取り組むため、「こども未来戦略方針」を策定し、若い世代の経済的支援や子育て支援サービスの拡充のほか、「共働き・子育て」の推進など、総合的な取組を進められております。

少子化対策を進めて人口減少を食い止め、その結果、日本市場の魅力が最大限発揮されるためには社会課題を解決するスタートアップの存在が大切であること等についてお話しいただきました。



スタートアップ関連4団体共催 経済産業省・金融庁・法務省による スタートアップ関連政策説明会 (2024/2/1)

スタートアップ関連4団体(新経済連盟、スタートアップ協会、スタートアップエコシステム協会、日本ベンチャーキャピタル協会)共催で、経営者や支援者のための政策説明会を開催いたしました。

2022年に「スタートアップ育成5か年計画」が発表されて以来、政府では、様々なスタートアップ関連政策が推進されてきました。こうした中で、2023年末には「令和6年度与党税制改正大綱」が決定され、多くのスタートアップ関連税制の改正内容が盛り込まれました。スタートアップ関係者が注目していた「ストックオプション税制」の改正を含む税制改正の方向性や、非上場有価証券の取引の活性化、会社設立手続の利便性向上など、政府の様々なスタートアップ関連施策について、経済産業省様、金融庁様、法務省様に解説いただきました。

<解説された主な施策>

- ・ストックオプション税制 ・エンジェル税制 ・J-StarX(起業家育成・海外派遣プログラム)
- ・スタートアップビザ ・非上場有価証券の取引の活性化 ・会社設立手続(定款認証手続)の利便性向上 ほか

政府省庁連携ならびに公的職務への対応

JVCA理事・委員が、政府省庁ならびに各種団体の委員会・会合に参加、意見表明しております。

(主な活動)

- ・経済産業省 スタートアップ・ファイナンス研究会
- ・経済産業省 我が国のスタートアップへの海外投資拡大のための環境整備に係る検討会
- ・経済産業省 日本スタートアップ大賞2024
- ・金融庁・経済産業省 ベンチャーキャピタルに関する有識者会議
- ・金融庁 金融審議会 市場制度ワーキング・グループ
- ・金融庁 インパクト投資等に関する検討会
- ・中小企業基盤整備機構 ファンド出資事業 評価・検討委員会
- ・中小企業基盤整備機構 JVA起業家表彰・ベンチャーキャピタリスト奨励賞審査委員会
- ・全国銀行協会 スタートアップ・ファイナンス研究会

JVCA/Preqin共催VCパフォーマンスベンチマークウェビナー（2024/3/28）

第6回目のベンチマークデータ収集に向けた説明会を兼ねて、2024年3月28日にGPおよびLPが参加するセミナーを行いました。Preqin社より国内外機関投資家動向について紹介いただいた後、「機関投資家から見た国内 VC-GP への期待とは」と題し、機関投資家LPの方々に登壇いただき、国内VCアセットクラスをどのように見ているか、当該アセットクラスへの期待についてパネル形式でお話いただきました。

CVC/Open Innovation Forumフォローアップ（2024/3/18）

JVCAではCVC会員を中心に多くの方にお集まりいただく「CVC/Open Innovation Forum」開催後に、CVC会員様同士の議論を目的とした「CVC/Open Innovation Forum フォローアップ」を例年開催しております。

座談会形式の全員参加型にて、CVC活動におけるベストプラクティスや課題の共有を行い、CVC活動の現場にいらっしゃる皆様同士の意見交換を通じたナレッジアップならびに、懇親会による参加者相互の交流深化を図りました。



大学等発スタートアップ創出シンポジウム（2024/1/22）

2024年1月22日に文部科学省との共催にて「大学等発スタートアップ創出シンポジウム 2024 ～ディープテックと世界への挑戦～」を東京大学伊藤謝恩ホールならびにオンラインにて開催し、450名を超える方々にご参加いただきました。

基調講演では「日本の成長戦略：大学・起業・繁栄」について、モルガン・スタンレーMUFJ証券株式会社 シニア アドバイザー ロバート・フェルドマン氏に、パネルI「大学セッション」では ビジョンインキュベイト永平廣則氏、東京農工大学前畑英雄氏、早稲田大学ベンチャーズ太田裕朗氏、パネルII「地域エコシステムセッション」では名古屋大学河野廉氏、東京工業大学辻本将晴氏、パネルIII「大学発スタートアップセッション」ではエレファンテック清水信哉氏、京都フュージョニアリング世古圭氏にご登壇頂きました。このほか、VC/CVCピッチおよびブース出展を行いました。



地方創生部会 地方銀行系VC MEET UP（2024/5/28）

地方創生部会では、地域のエコシステム活性化を通して、地域経済さらには日本経済の発展に寄与するべく活動しております。その中で、地域のスタートアップ・エコシステムの発展には、地域に根差す金融機関様の役割は大変大きいものと認識しております。そこで2024年5月28日は、JVCA会員と、地方金融機関のベンチャーキャピタル/スタートアップご担当者様にお声かけをし、静岡キャピタル久野託司氏、京都キャピタルパートナーズ福岡亮氏、大分ベンチャーキャピタル松本晋也氏、林龍平JVCA常務理事/地方創生部会長によるパネルディスカッションと、懇親会を行い、情報収集、ネットワーキングいただける場といたしました。



グローバルセミナー(2024/5/15、8/2)

2024年5月15日に、グローバルウェビナー「Learning from global VC's viewpoints ～海外VCから学ぶ投資先のGo Global支援～」を開催しました。ユニコーン社が17社誕生しているブラジルと15社誕生している韓国の第一線で活躍されているmonashees社Eric Acher氏とAtinum Investment社Park Chan氏に両国での事例を踏まえながら日本のVCとして取り組むべき方向性についてお話しいただきました。

2024年8月2日には、グローバルウェビナー「Learning from Top Tier VC's activities ～a16zから学ぶ投資・ハンズオン戦略の実態～」を開催しました。世界的なトップティアVCであるAndreessen Horowitz(a16z)に6か月間出向した経験をお持ちのMPower Partners佐久間優奈氏をお招きし、米国トップVCの投資方法、チームマネジメントなどについてお話しいただきました。



事務局からのお知らせ

[1] JVCA理事会開催報告

JVCAでは、隔月で理事会を開催しており、2024年2月～2024年8月は下記日程で実施いたしました。

・2月27日 ・4月23日 ・6月11日 ・7月12日 ・8月27日

28件の承認事項を審議し、35件の事項の報告を行いました。また「政策提言」「活動方針」等について、理事による討議を行っております。

[2] 今後のイベント予定

- ナレッジ勉強会: 2024年10月21日(月)
- Global Venture Capital Congress (GVCC JAPAN): 2024年10月27日(日)～30日(水)(完全招待制)
- ベンチャーキャピタリスト研修(初級)《秋季》: 2024年11月実施予定
- 中堅キャピタリスト研修《秋季》: 2024年12月実施予定
- CVC研修: 2025年2月実施予定

(都合により変更となる可能性もございます。)

※上記イベントは対象者ごとにメールにてご案内いたします。



[3] 各種変更のお手続きについて

会員登録情報(会員種別・社名・住所・代表者・ご担当者など)に変更が発生いたしましたら、下記JVCA会員サイトよりログインの上変更をお願いいたします。各種ニュース、セミナー、イベント等をお知らせする配信先メールアドレスも、当システム上で変更いただけます。

◆JVCA会員サイト(マイページ): <https://jvca-members.jp/member/login/>

※ログインID、パスワード等、会員情報管理システム利用にて不明な点があれば以下までお問い合わせください。

<お問い合わせ先> jimukyoku@jvca.jp

日本ベンチャーキャピタル協会 ニュースレター No.55

- 発行 2024年9月
 - 発行 一般社団法人 日本ベンチャーキャピタル協会
 - 編集 JVCA事務局
- 〒105-0001 東京都港区虎ノ門5-9-1 麻布台ヒルズ ガーデンプラザB 5階
☐TEL: 03-6432-4667 ☐FAX: 6432-4664
☐E-mail: jimukyoku@jvca.jp ☐URL: <http://www.jvca.jp>
(出社/リモートワークを併用しております。可能でしたらE-mailにてご連絡をお願いいたします。)

